

苫前地域

指定基準	講評
<p>イ．当該地域マリビジョンが、地域のポテンシャルを活かすとともに個性ある計画となっていること。</p>	<p>苫前地域は「くるるん&ふらっと とままえ」をキャッチフレーズとして、海水浴のできる海岸施設、散策できる漁港施設、漁港直背後の公園、丘の上の温泉宿泊施設、オートキャンプ場と交流のためのハード施設を最大限活用して、地域水産物の価値向上や地域活性化を目指す内容となっている。地域イベントの開催や交流ハードを活用して都市との交流を図って地域活力を向上させるものであり、地域として価値あるビジョンとなっている。</p>
<p>ロ．当該地域マリビジョンが、独創性、先駆性、広域性のいずれかが認められるとともに、他地域モデルとして見込み、北海道マリビジョン21の具現化に資する計画となっていること。</p>	<p>漁港周辺に集積した多様な交流ハードの複合的かつ相乗的な活用方策による都市漁村交流とそれを基礎とした水産物価値向上方策については、従来にない独創性があると評価できる。 今後は、例えば、都市部の学生に苫前町民が宿泊を提供する苫前ホームステイや都市住民との個別契約による苫前町の農水産物の定期便等周年を通じた交流ができるプロジェクトを立ち上げていく等、独創的な都市漁村交流施策等が実行され、他地域の参考になっていくことを期待したい。</p>
<p>ハ．当該地域マリビジョンが、地域協議会の十分な議論・調整を踏まえた計画であること。また、地域マリビジョン策定後であっても、適宜地域協議会において当該地域マリビジョンの円滑な推進を図る計画となっていること。</p>	<p>多様な協議会参加者による十分な議論がなされた計画であると評価できる。地域マリビジョン策定時には、ワークショップ手法により活発な議論を行ってきたほか、協議会の策定状況をニュースレターとして各戸に配付するなど、地域での合意形成に工夫がなされており、ビジョンを推進していくための環境醸成もなされている。</p>
<p>ニ．当該地域マリビジョンに位置付けられている拠点漁港が、北海道マリビジョン21の趣旨に鑑み、計画において拠点漁港のいずれかに該当すること。</p>	<p>拠点漁港の苫前漁港はモデル性が確保されている。特に、苫前漁港では既にマリビジョンの実現に必要な主要な基盤は整備済みであることが最大の特徴となっており、今後継続的なビジョン実現に向けた取り組みによって漁港の効用が最大限発揮されていくことが期待される。</p>
<p>ホ．地域マリビジョンの実現に向けた取り組み内容が各実行主体ごとに明確になっているほか、それらの取り組みが地域において継続的に行われる等、地域マリビジョン及び取組主体の熟度が認められること。</p>	<p>既に地域イベントや各種交流ハードにおいて、地元農水産物や観光資源のPRが継続的に行われ、フォローアップのための実行部会も設置に向けたメンバー選定を終え、開催に向けて事前アンケート調査を実施するなど具体的な準備が整えられている。交流ハードを活用した都市漁村交流を中心として積極的に活動していると評価できる。 更に既存の温泉宿泊施設が道の駅として新たにオープンすることにより、温泉利用者だけでなく一般道を通るドライバーに周年通じて休憩、情報発信、地域連携がなされることによるため、地域マリビジョンの継続的な取り組みにより都市交流が一層活発に行われることを期待したい。</p>